

[重点施策Ⅱ] 水産業集積地域，漁業拠点の再編整備

(1) 漁港・漁村 【P36-40】

①漁港の本格復旧工事

漁港では平成23年12月から本格復旧工事が進められています。平成28年3月末現在，県管理漁港27港及び市町管理漁港112港の全てで本格復旧工事に着手しており，災害査定件数ベースの着手率は県全体で91%（うち県管理漁港89%，市町管理漁港92%）となっています。

また，県管理漁港の復旧工事は，平成29年度までに全ての漁港施設が完了する見込みでしたが，漁業者との係船調整により工事期間の延伸が必要になったことや，入札不調による工事発注の遅れなどの理由により，10漁港程度で完成年度が1～2年遅れる見込みとなっています。また，波路上漁港，塩釜漁港，関上漁港の3漁港においては平成30年度までかかる見通しになっています。

壊滅的な被害を受けた各漁港の早期復旧は，本県水産業の復興にとって不可欠であることから，全漁港の全施設を一日でも早く使用できるよう復旧工事を進めています。

②高度衛生管理型荷さばき所の整備

震災前に全国第2位の漁業生産量を誇り，宮城の水産業を支えた5つの主要魚市場は，東日本大震災に伴う大津波により大きな被災を受けました。

現在，早急な漁港機能の回復を図るべく，漁港施設の災害復旧の進捗とあわせ，全国的な水産物の生産・流通の拠点として，国民に安全安心な水産物を提供するため，高度な衛生管理に対応した荷さばき所を一体的に整備するとともに，海外への輸出を視野に入れた施設整備や，荷さばき後の水産物を効率的に搬出するためのトラックヤード及び臨港道路の整備を進めています。

平成27年度は，石巻漁港荷さばき所の全面及び女川漁港荷さばき所東棟の供用が開始されました。また，塩釜漁港と志津川漁港の荷さばき所の建築工事を推進したほか，気仙沼漁港の荷さばき所C，D，E棟の建築工事に着工しました。

③漁港施設用地の嵩上げ工事

荷さばき所や漁港背後の水産加工団地など，県が管理する漁港施設用地の嵩上げ及び排水対策は，災害復旧事業と併せて平成23年11月から各種工事を実施しています。

県管理の漁港施設用地については，平成27年度までに，嵩上げが必要となる25漁港のうち24漁港において工事に着手（着手率96%）し，市町管理の漁港施設用地についても，97漁港のうち91漁港において工事に着手（着手率94%）しています。

また，水産加工団地などの民地については，石巻漁港水産加工団地及び気仙沼漁港水産加工団地の嵩上げ工事が完了し，加工団地内に77企業の立地が内定しています。女川漁港水産加工団地の第1期地区については98%の嵩上げが完了，第2期地区については71%の嵩上げが完了し，団地内に11企業の立地が内定しています。関上漁港水産加工団地については，平成27年7月から盛土工事に着手し，全体の67%

の盛土が完了、団地内には9企業の立地が内定しています。

④漁港海岸の防潮堤における災害復旧工事及び新設工事

東日本大震災による被災を受け、本県では、漁港海岸の防潮堤を整備し、比較的発生頻度の高い津波（L1津波）から人命及び財産などを防護することとしています。

県管理の防潮堤工事に際し、地元との合意状況は59地区中48地区で合意し合意率は81%、工事着手は59地区中33地区で着手し、着手率は56%となっています（平成28年3月末現在）。一方、防潮堤計画については、高さや整備位置、景観に対する要望が多く出されるなど、未だ合意に至っていない地区があります。

今後、防潮堤計画に合意が得られていない地区については、防潮堤の必要性に加え、まちづくりとの調整や環境への配慮などについて丁寧な説明を心がけ、住民の合意を得ることに努めていきます。

また、合意を得られた地区については、詳細設計や用地買収を進め、順次工事着手に努めていきます。

主な事業		
課名	事業費（千円） [決算額]	事業名
水産業基盤整備課 漁港復興推進室	37,852,903	水産基盤整備災害復旧費（再掲） 漁港施設機能強化事業費（再掲） 海岸保全施設整備事業費（再掲） 広域漁港整備事業

※過年度繰越がある場合は過年度繰越を含む金額を記載しています。

－主な取組－

① 漁港復旧の取組について

1 概要

東日本大震災により県内にある142漁港は、その全てが被災しており、その復旧のための工事費は漁港施設及び海岸保全施設を合わせて、平成27年再調査において県管理漁港で1,905億円、市町管理漁港で1,589億円の合計3,494億円となっています。

壊滅的な被害を受けた各漁港の早期復旧は、本県水産業の復興にとって不可欠であることから、全漁港を一日でも早く使用できるよう復旧事業を進めています。

2 状況

漁港施設の復旧工事は、震災直後から応急工事に着手し、平成23年12月から本復旧工事を進めています。

復旧状況は、平成28年3月末現在で、県管理漁港27港の全てに着手し、市町管理漁港でも、河川災害で復旧する2港（東松島市：野蒜漁港、松島町：高城漁港）と漁港施設の災害復旧を行わない1港（仙台：深沼漁港）を除いた112港全てで着手しています。

平成27年度の漁港施設災害復旧の進捗 H28.3月時点

	査定件数	着手件数	着手率	完成件数	完成率
県管理漁港	551	488	89%	291	53%
市町管理漁港	749	692	92%	314	42%
合計	1300	1180	91%	605	47%

災害査定件数ベースの着手率は、県管理漁港では89%、市町管理漁港では92%であり、県全体では91%となっています。また、完成率は、県が53%、市町が42%、県市町合わせ47%となっています。

県管理漁港の復旧工事は、平成29年度までに全ての漁港施設が復旧完了する見込みでしたが、漁業者との係船調整により工事期間の延伸が必要になったことや、入札不調による工事発注の遅れなどの理由により、10漁港程度で完成年度が1～2年遅れることとなりました。

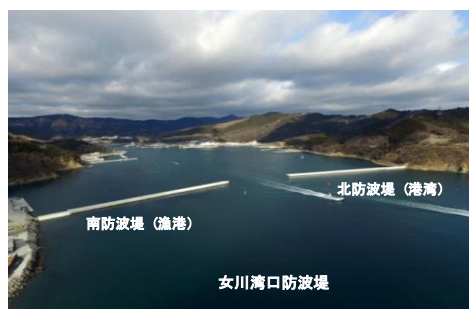
年度別 漁港災害復旧完了数

	平成26年度 完了	平成27年度 完了	平成28年度 予定	平成29年度 予定	平成30年度 予定	合計
完了数	3	4	5	12	3	27
累計	3	7	12	24	27	27

波路上漁港、塩釜漁港、閉上漁港の3漁港においては30年度までかかる見通しになっています。

平成27年度までに、寄磯漁港、狐崎漁港、桃ノ浦漁港、日門漁港、泊（歌津）漁港、網地漁港、福貴浦漁港の7港で復旧工事が完了しており、平成28年度については、小鯖漁港、鮪立漁港他3港で完了を目指して、進めています。

3 完成の状況



女川漁港湾口防波堤
(平成27年度完成)



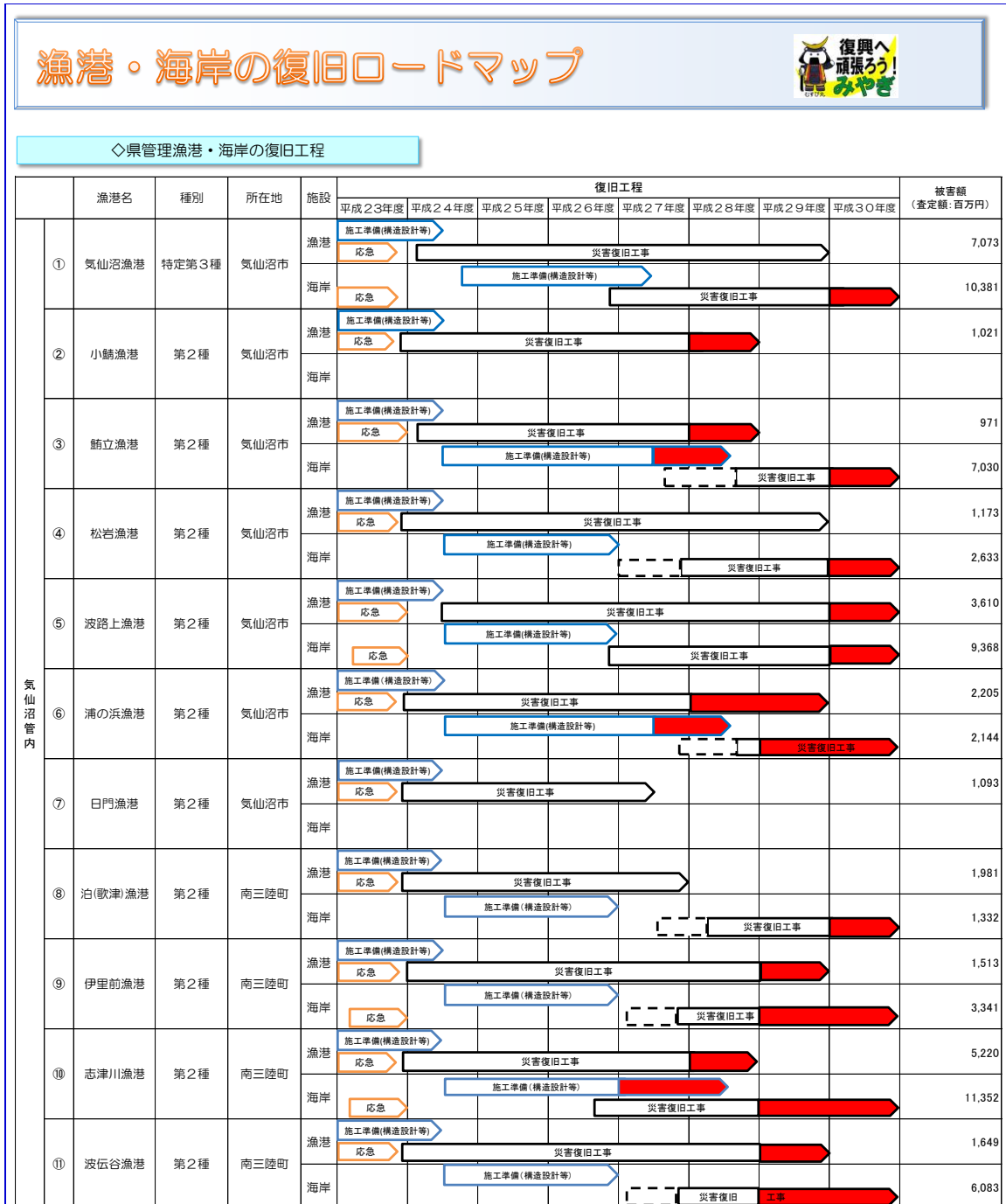
日門漁港 -3.0m岸壁
(平成27年度完成)

(漁港復興推進室)

4 「漁港の復旧ロードマップ」

県管理の27漁港について、見直した復旧・復興ロードマップを海岸保全施設の災害復旧の情報と合わせて、ホームページで公表しています。

(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gyofuku/gyokouhukkyu.html>)



(漁港復興推進室)

東部管内	12	石巻漁港	特定第3種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	24,593
					海岸	応急	災害復旧工事	853
	13	女川漁港	第3種	女川町	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	15,214
					海岸	応急	災害復旧工事	
	14	渡波漁港	第3種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	9,420
					海岸	応急	災害復旧工事	2,328
	15	雄勝漁港	第2種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	1,327
					海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	11,759
	16	奇磯漁港	第2種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	2,016
					海岸	応急	災害復旧工事	
	17	鮎川漁港	第4種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	7,711
					海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	49
	18	網地漁港	第2種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	1,494
					海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	152
	19	福貴浦漁港	第2種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	1,988
					海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	167
	20	狐崎漁港	第2種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	1,127
					海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	
	21	桃ノ浦漁港	第2種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	2,111
					海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	2,529
22	仁斗田漁港	第2種	石巻市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	1,991	
				海岸	応急	災害復旧工事		
23	塩釜漁港	特定第3種	塩竈市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	9,243	
				海岸	応急	災害復旧工事		
24	磯崎漁港	第2種	松島町	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	1,119	
				海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	805	
25	桂島漁港	第2種	塩竈市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	983	
				海岸	応急	災害復旧工事		
26	関上漁港	第2種	名取市	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	3,531	
				海岸	応急	災害復旧工事		
27	荒浜漁港	第2種	亶理町	漁港	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	5,231	
				海岸	施工準備(構造設計等)	災害復旧工事	1,647	
県管理27漁港				漁港			116,608	
				海岸			73,953	



：事業期間延伸部分



：応急対策

(漁港復興推進室)

－主な取組－

②高度衛生管理型荷さばき所の整備について

1 概要

全国2位の漁業生産量を誇る宮城の水産業を支える5つの主要魚市場は、東日本大震災に伴う大津波により大きな被災をうけました。

現在、早急な漁港機能の回復を図るべく、漁港施設の災害復旧の進捗とあわせ、全国的な水産物の生産・流通の拠点として、国民に安全安心な水産物を提供するための流通機能の強化を図るため、国が定めた高度衛生管理基本計画に基づき、高度な衛生管理に対応した荷さばき所を一体的に整備するとともに、海外への輸出を視野にいたした施設整備、荷さばき後の水産物を効率的に搬出するためのトラックヤードや臨港道路の整備を進めています。

2 状況

気仙沼漁港（特定第3種漁港）・・・気仙沼市魚市場，H24～H28

平成27年度は、荷さばきのC，D，E棟の建築工事に着工した。

石巻漁港（特定第3種漁港）・・・石巻市水産物地方卸売市場，H24～H27

平成27年度は、荷さばき所の全棟供用を開始した。

塩釜漁港（特定第3種漁港）・・・塩竈市新魚市場，H24～H29

平成27年度は、荷さばき所A，C棟の整備を推進した。

女川漁港（第3種漁港）・・・女川町地方卸売市場，H22～H28

平成27年度は、荷さばき所東棟の供用を開始し、中央及び西棟の建築工事に着工した。

志津川漁港（第2種漁港）・・・南三陸町地方卸売市場，H26～H27

平成27年度は、荷さばき所の建築工事を推進した。

3 完成の状況



石巻漁港 石巻市水産物地方卸売市場石巻売場



女川漁港 女川町地方卸売市場東棟



完成式典状況（9月26日）



落成式典状況（6月22日）

（漁港復興推進室）

－主な取組－

③石巻魚市場の全面完成及び女川魚市場東荷さばき所の完成について

宮城県の水産業を支える石巻市水産物地方卸売市場石巻売場（以下、「石巻魚市場」という。）及び女川町地方卸売市場（以下、「女川魚市場」という。）は、東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受け、市場機能を失いました。

県では、速やかな漁港施設の復旧とともに水産物の生産・流通の拠点として市場機能を回復させ、国民に安全安心な水産物を提供するために、高度な衛生管理に対応した魚市場として再建整備を進めてきました。

魚市場の完成は、地域の基幹産業である水産業のみならず、地域経済の一層の活性化につながるものと期待されています。

1 石巻魚市場について

石巻魚市場は平成27年9月から全面供用を開始しました。新施設は荷さばき所3棟と管理棟からなり、上屋の全長は876mで国内最大規模を誇ります。荷さばき所は、通常時は扉・壁によって閉鎖されており、必要時のみ出入口を開放する閉鎖型の施設となっており、安心安全な市場運営のため、人と車両の入場が管理されています。また、密閉構造による風雨侵入の防止や、フォークリフトのタイヤ洗浄設備を取り入れるなど高度衛生管理に対応した施設となっています。

2 女川魚市場について

東荷さばき所は平成27年6月に完成しました。建物をL字型形状（南北189m，東西90m）とし、水揚げ岸壁の有効活用を図るとともに、上屋と大型の庇（ひさし）を設けることで、鳥類の侵入防止や、トラックスケールへの待機中でも日射しや降雨の自然環境から漁獲物が守られ、品質管理や鮮度保持の対策を向上させています。魚市場では平成28年度の全面完成を目指して、引き続き中央及び西荷さばき所（鳥獣が入らないよう壁やシャッターで囲み、高度衛生管理に対応した閉鎖型施設）と管理棟の工事が進められています。



石巻魚市場



女川魚市場東荷さばき所

(東部地方振興事務所水産漁港部)